

それでは、呼びかけをしたいと思います。

6月以降感染状況は大きく改善し、5月9日から適用されていたまん延防止等重点措置が終了しましたが、これまでの経験を踏まえ、感染の減少期においてしっかりと抑え込んでおくことが重要であることから、6月21日から6月30日までを三重県リバウンド阻止重点期間としてご協力をお願いし、県としても対策を行ってまいりました。

感染状況を示す指標について6月以降改善傾向が続き、三重県リバウンド阻止重点期間を決定した6月18日時点で、病床占有率をはじめ全ての指標が政府分科会の示すステージⅡ相当以下となっていました。

その後、三重県リバウンドアラートとして設定した新規感染者数が2日続けて17人以上に近づくこともあったものの、病床占有率、重症者用病床占有率、人口10万人あたり新規感染者数など、主な指標はさらに改善をしています。

また、飲食店への営業時間短縮要請を行っている四日市市についても、新規感染者数は大幅に減少するなど感染状況は改善をしております。

こうした状況を踏まえまして、三重県リバウンド阻止重点期間は当初の期限どおり6月30日で終了をします。4月20日に三重県緊急警戒宣言を発出した後、2ヶ月を超える長期にわたり、県民の皆様、事業者の皆様には苦しい状況の中、要請に応じていただくとともに、それぞれがしっかりと対策をとっていただいた結果として感染状況は大幅に改善をいたしました。

県民の皆様、事業者の皆様には心より感謝を申し上げます。

(資料1ページを掲示) 感染状況だけ申し上げておきますと、これは日々の感染状況ですけれども、この前も、このリバウンド阻止重点期間始まってからも、21日が5件、22日が2件ということですが、ここだけ少し増えている状況であります。ずっと1桁が、5人以下がずっと続いていると。この3つ以外ですね。全体の指標としましても(まん延防止等重点措置)決定日と比べて病床使用率、重症、それから、とりわけまん延防止等重点措置適用のときに厳しい状況だった入院率、これ要は調整中の人とか、自宅療養の方々の率ですが、入院できないというか入院していない率が、とりわけ大幅に改善して76.7%が入院しているというような状況。療養者数と検査陽性率もかなり低くなっているということと、こういう人口10万人あたりも下がってきております。

まあこの3日間がありますけれども、ここだけ1.50になっていますが、今の状況が続けばもう近いうちに数日に1を切るという状況になると見込んでいます。

次お願いします。

(資料2ページ) リバウンド阻止期間においても、重点期間においても、営業時間短縮をお願いしていた四日市市につきましても、リバウンド阻止重点期間を決定した時と比べても、病床占有率もこれだけ下がりましたし、人口10万人あたりの新規感染者2週間もこれだけ下がっているということですので、リバウンド阻止重点期間、この営業要請、営業

の時短要請を終了するということになります。

感染状況の改善に伴い、今ご説明したように三重県リバウンド阻止重点期間は終了しますが、より感染力が強いとされるデルタ株への置き換わりが懸念される中、次の感染拡大の波を起こさない、起きたとしても短く小さく抑えていくため、感染防止対策の徹底とワクチン接種を両輪として、対策を継続していかなければなりません。

そのため三重県指針を改定し、県民の皆様、事業者の皆様に、今一緒に取り組んでいただきたい感染防止対策について、三重県指針バージョン12として取りまとめをしました。

今申し上げましたように第5波を回避するために、三重県指針バージョン12という形で感染防止対策とワクチン接種の両輪で取り組んでいく。感染防止対策のところを中心に改定をしましたものであります。

今申し上げましたように、次の感染拡大の波を起こさない、起きたとしても短く小さくしていくために、皆さんに引き続きこのバージョン12に基づいてご協力をお願いしたいと思います。

まず感染防止対策についてですが、ワクチンの接種が進んでおりますけども、既存のウイルスから置き換わったと考えられるアルファ株より、さらに感染力が強いと考えられるデルタ株など、新たな変異株も増加する中、ワクチン接種の有無にかかわらず、一人一人がマスクの着用、人との距離の確保、手洗い、手指消毒、部屋の換気などをあらためてしっかりと徹底いただくようお願いをいたします。

あわせて変異株の感染力の強さにも警戒し、3密だけでなく1密2密であっても避けていただくなどにより、一層の対策をお願いしたいと思います。

一方で、気温や湿度が高くなる場合は、熱中症にも注意が必要です。屋内ではエアコンの活用や、屋外では人との距離をとりマスクを外すなど、状況に合わせた対策をお願いしたいと思います。

東京オリンピック、パラリンピックの開催が迫っておりますけれども、ご自宅やご友人宅、店舗等で家族以外と集まって観戦することは、声援等で大声を出すことも想定され、感染リスクが高まりますので、極めて慎重な検討、判断をお願いします。

あわせて各団体等においても、パブリックビューイングの実施については、くれぐれも慎重にご判断をお願いしたいと思います。

次、はい。

(資料4ページ) これ今申し上げたとおりです。感染防止対策に引き続き徹底をしていただくということ。3密だけじゃなく1密2密にも警戒をして欲しいと思いますし、熱中症にも注意をしながらやっていただきたいと思います。

それから、引き続き大人数や長時間の飲食、大声やマスクなしの会話は避けていただきたいと思うんですが、パブリックビューイングなどとかオリンピック、パラリンピックを

集まって観るということについては、極めて慎重な検討判断をお願いしたいと考えています。

続いて移動についてです。

全国的に感染状況は改善していますが、生活文化圏を共有する愛知県を初め、大阪府、京都府など、近隣府県や首都圏などにおいて引き続きまん延防止等重点措置が適用されており、沖縄県においては緊急事態宣言が発出されるなど警戒が必要な状況です。

こうした状況にかんがみ、緊急事態宣言やまん延防止等重点措置の対象となっている都道府県や飲食店等への営業時間の短縮が要請されているエリアへの移動は避けてください。また、その他の都道府県への移動についても必要性を慎重に検討いただき、可能な限り控えてください。

また、帰省をご検討いただいている場合は、混雑する時期を避けていただくとともに、帰省の2週間前から感染リスクの高い場面を避けるなど、対策を徹底していただくようお願いいたします。

今申し上げましたとおり移動につきまして、緊急事態宣言、まん延防止等重点措置が発出されているところへの移動は、生活維持に必要な場合を除いて避けてください。帰省というのを考えている、三重県から県外へ帰省する場合、また三重県内にご家族が帰省で戻ってこられる、そういうことを考えられているところもあると思いますが、混雑しない時期の移動を検討する、帰省の2週間前から大人数や長時間の飲食などを避けるということで感染防止対策の徹底をお願いしたいと思います。

それから事業者の皆様におかれましては引き続き、業種ごとの感染拡大予防ガイドラインを遵守いただくとともに、勤務時間外も含めた従業員の皆様への感染防止策の周知、休憩室や送迎バスなど、居場所の切り替わりの場面にも注意した対策の徹底をお願いいたします。

また、飲食店や観光施設の皆さんにおかれましては、利用者の皆様が安心してご利用いただけるよう、三重安心おもてなし施設認証制度「あんしん みえリア」の積極的な活用をお願いいたします。

今申し上げたとおり、ガイドライン、居場所の切り替わり、それから認証制度、これぞひ事業者の皆さんにもお願いをしたいと思います。

繰り返しになりますけど最後、人権への配慮ですが、コロナに関連して、差別、誹謗中傷は絶対に行わないでください。

またワクチン接種が進んでおりますけども、ワクチン接種は希望者の同意に基づき行われるものです。職場や周りの方などに接種を強制したり、接種を受けてない人に対する誹謗中傷、偏見や差別に繋がる行為は絶対に行わないでください。

あわせて、ワクチンについては国からも注意喚起されておりますけども、SNS等において根拠や発信者が不明な情報が広がる事例があります。ワクチン接種については正しい理解のもと判断されるべきであり、根拠が不明な情報に基づく行動や情報の拡散しないよ

うお願いをいたします。

県としましても情報発信を進めてまいりますので、公的機関等の科学的根拠に基づいた情報をご確認いただきますようお願いをいたします。

これから梅雨が明け本格的な夏となり、夏休みや帰省など、多くの人が移動する季節となります。

昨年7月から8月にかけての第2波においては、若い世代の方や、県外由来の感染事例が増加し、その後、家庭内で感染が拡大。幅広い年代の方への感染へと繋がりました。

こうした経験も踏まえ、今年こそは感染拡大を防ぎ、楽しい夏を迎えられるようオール三重で感染防止対策に取り組んでいく必要があります。県としましても引き続き、ワクチン接種、検査体制の充実、影響を受けている事業者の皆様への支援を初め、対策に取り組んでまいりますので、県民の皆さんも一緒に取り組んでいただきますようお願いをいたします。

それからリバウンドアラートについては、この2日間、2日連続で17人以上というものについては、このリバウンド阻止重点期間後もシグナルとして使っていきたいと思っていますし、呼びかけをして、感染状況に応じて対策を迅速に実施する1つの指標に使っていきたいと思います。

次お願い。

(資料9ページ)これが去年です。これ去年です。今最後に言いましたように去年です。

去年の7月、10代20代の人が61%感染をしていた。そこから8月はこういう形で各年代に家庭内感染などで広がっていった。

次お願いします。

(資料10ページ)7月、県外由来が51%あった。そこからいろんなクラスターとかもあって県内の由来の感染が増えた。というようなことがありますので、去年のこの教訓を生かして、若い世代の皆さんもしっかり感染対策をとってもらう。こういう県外との移動においても十分気をつける、そういうふうを考えて欲しいと思います。

(資料11ページ)次の次、イギリスのランセットのを。

これはイギリスのある雑誌で出ていたやつですけど、5月の感染状況で、これは若い世代。で、65歳からこっち。要はデルタ株の感染ですけど、この高いところがデルタ株の感染が多いということで、やはりワクチン接種が進んでいっているこの年代は感染が少なく、まだワクチン接種が途上のところですね、ここはまだ、やはり感染の方が多いということで、これは日本でも三重県でも同じことが起こりうるということで、先ほど感染防止対策とワクチン接種の両輪と申し上げておりますが、ワクチン接種をしっかり市町等にやってまいりますけれども、感染防止策も引き続き必要ですので、とりわけワクチン未接種の方、これは希望に基づいてワクチン接種しますので、ワクチンの強制ということではなく、ワクチンがまだ未接種の方は、あるいは接種しないという選択をされた方におかれ

ましても、引き続き感染防止対策の徹底をぜひお願いをしたいということです。

(資料12ページ) ちなみにこれはアメリカのやつです。アメリカの5月です。

12歳以上の人口の63%が接種済みということなんですけども、入院が必要だった人が85万3000人いるんですが、そのうちワクチンを接種しない人が大半と。赤色が未接種です。亡くなった方においてもこういう状況ですので、ワクチン接種というのが一定、重症化予防とか発症予防、感染予防にも繋がっていったというようなことでありますので、そして、まだワクチン接種は途上でありますし、ワクチン接種を希望されない方もいらっしゃいますので、感染防止対策とワクチン接種、この両輪で、両方しっかりみんなやっていくということが大事ですので、ぜひご理解のほど、ご協力のほどお願いしたいと思います。

呼びかけは以上です。